

# 12 Tornado

独特な響きと拡がりを持つ  
12弦サウンド。  
新たなサウンド空間を  
プロデュースします。

オクターヴとユニゾン弦によるナチュラルなコーラス空間を作り出すトルネード12弦モデル。ラウンド・バックボディとハイクオリティ・ピックアップによって、ディープボール、シャローボール共にワイドレンジ&プリリアントな12弦ならではのサウンドをアウトプットします。6弦では絶対に味わえない拡がり、サウンドキャラクターを持つ12弦シリーズ。ギタリストに新しいハーモニーを与えます。

ダイナミックで華麗なユニゾンサウンドのために、ディープボディとロングスケールを採用。ダイナミックなサウンドが炸裂。



## Z I-12DX

¥95,000

Soundboard: SPRUCE  
Soundhole: 100mm, EC-D  
Body: DEEP CUTAWAY GRAPHITE  
Neck: ROSE ON NATO  
Strings & Scale:  
U.S.A. LIGHT / 652mm  
Head Design: BOTH SIDED (B/S)  
Machine Heads: GOTOH SG, DIECAST BUTTON  
Bridge: ROSE  
Pick Up: PIEZO(ICP-177/172)  
Electronics: PR-1264B(1V/3EQ w/B/C)  
Finish: BLK, BS, CGS, FBU, SBU  
Suitable case(option): TR2, TS1



## Z III-12DX

¥95,000

Soundboard: SPRUCE  
Soundhole: 100mm, EC-D  
Body: SHALLOW CUTAWAY GRAPHITE  
Neck: ROSE ON NATO  
Strings & Scale:  
U.S.A. LIGHT / 652mm  
Head Design:  
BOTH SIDED (B/S)  
Machine Heads: GOTOH SG, DIECAST BUTTON  
Bridge: ROSE  
Pick Up: PIEZO(ICP-177/172)  
Electronics: PR-1264B  
(1V/3EQ w/B/C)  
Finish: BLK, BS, CGS, FBU, SBU  
Suitable case (option): TR1, TS1

### ■ボディ

「トルネード」のボディは、音響工学と人間工学のもとにデザインされた三次元設計のラウンドシェーブです。ボディ素材のオリジナルグラファイト材には、永年のアコースティックギター造りで培ったサウンドのノウハウが最大限に活かされ、天然素材にも劣らないクオリティが得られます。さらに、選りすぐられた天然のトップ材とのベストマッチングにより、アコースティックギターとしての基本的なサウンドも確実に保証しています。

### 〈シャローシェーブ〉

レスポンスの高いシャープなアコースティックサウンドと、プレイビリティを重要視したデザインです。

### 〈ディープシェーブ〉

豊かでダイナミックなアコースティックサウンドを重要視したデザインです。

### ■サウンドホール

シャープ&タイトなアコースティックサウンドを得るために、音響工学に基づいて計算されたサウンドホール径と、「エクリプス」をモチーフとしたデザインが「トルネード」のアクセントデザインとなっています。

### 〈EC-L〉

メキシカンシェルのグリッドパターンが「トルネード」のカスタムデザインに、よりハイクラスな雰囲気を出しています。

### 〈EC-D〉

パロイドのグリッドパターンが、テラックな「トルネード」のデザインに映えます。

### 〈EC-S〉

シルバーカラーのガラスパターンが「トルネード」のデザインを引き立てます。



### ■ストラップピン

ハードなステータスアクションに対応したストラップピンと、バランスの良い取り付け位置に気が配られています。



### ■How-toエレアコ

これだけは知ってほしいエレ・アコの知識

「トルネード」シリーズに代表される、エレアコ(エレクトリック・アコースティックギター)のほとんどは、専用のセンサーを内蔵し、弦振動を直接ピックアップしています。一般的にエレアコのサウンドは普通のエレクトリックギターに比べ、周波数特性もダイナミックレンジも広いので、そのサウンドを忠実に再生するために、特性がフラットでレンジの広いPAシステムが専用のシステム、あるいはボーカルアンプやキーボードアンプ等が適しています。又、カセット4chなどMTTR機への接続は、LINE IN(ライン・イン)又は楽器用インプットへ接続します。たとえば「トルネード」の場合、出力インピーダンスは10KΩ以上/10dBmのため、PAまたはボーカルアンプ等の楽器入力、10KΩ以上の入力端子へ接続して下さい。ただし、一般家庭のオーディオ(ステレオ)システムを使用するときは、スピーカーのダイナミックレンジが低いため、音量を上げすぎると破損する場合がありますので注意が必要です。この場合、楽器とオーディオシステムの間にはリミッターを接続することで、このトラブルを解決することができます。

### 〈シールド〉

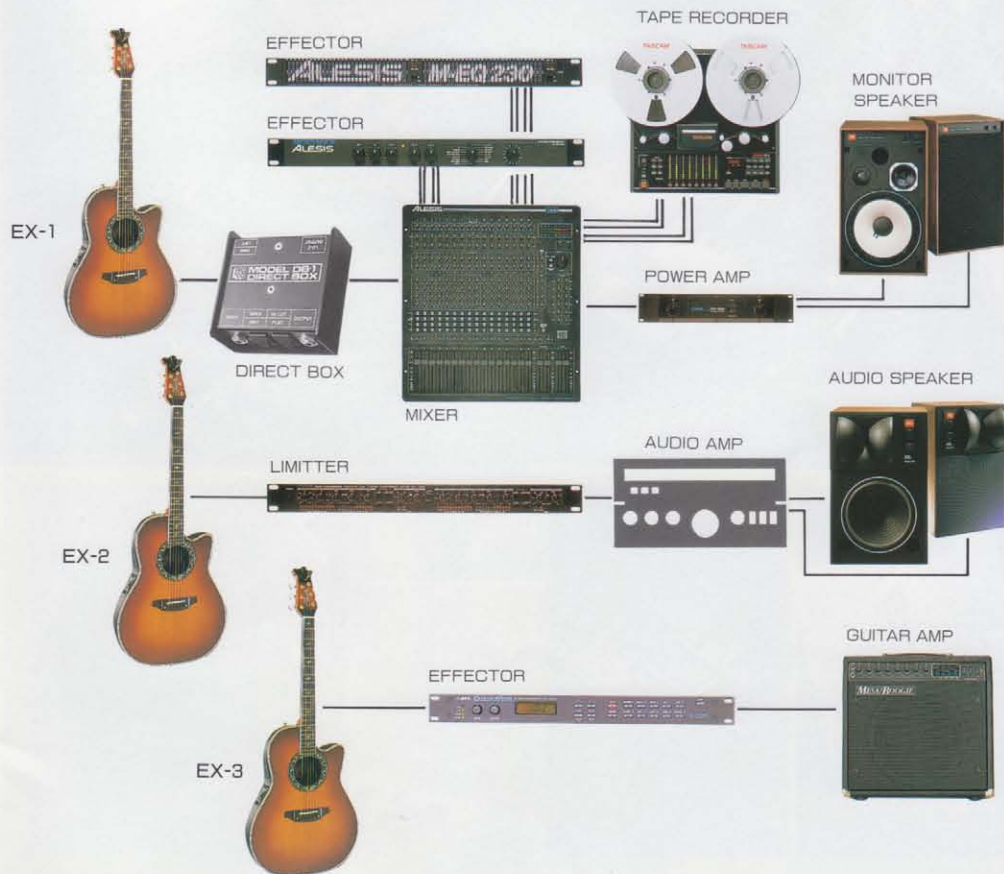
エレアコからミキサーへのケーブルはなるべく3m以内が望ましく、それ以上延ばしたい場合、エレアコから、ダイレクト・ボックス(D.I.)へ接続し、バランス型に変換した上で、延長ミキサーなどへインプットすると、ノイズなどの面でよい結果が得られます。

### 〈ギター・アンプを使用する場合〉

エレアコは、そのサウンド上、なるべくクリーンなセッティングが出せるギターアンプをお勧めします。もしもアンプの出力の問題などで、あまり音量を上げられない場合は、アンプのライン・アウト又はプリアウトを使用し、PAにライン・アウトすると良いでしょう。出力の大きいアンプの場合、ギターとの位置の関係で、ハウリングが起きやすくなる場合がありますからギター側のトーンアンプのEQ、レベルをコントロールし、ハウリング・ポイントを押さえて下さい。

### 〈エフェクター〉

エレアコは、ディレイ、コーラス、リバヴなどのエフェクターを使用する事により、一段とクリアで拡がりのあるサウンドを作り出すことができます。更にこのタイプのエフェクターにステレオ仕様のものを使用し、PAなどにステレオで出力すると非常に効果的なエフェクト+エレアコのサウンド・シーンをプロデュースする事ができます。コンパクトエフェクターを使用する場合は、エレアコエフェクター→PA or AMPとセッティングします。又、ハウリング防止や、細かなトーンメイク用としてはイコライザーがよいでしょう。



(SPECIAL THANKS) ALESIS JBL PRO.CO. MESA/BOOGIE TASCAM